

令和8年度 国民スポーツ大会（青森）少年の部二次選考会

競技上の注意

- (1) ゲームは日本ソフトテニス連盟のハンドブックに則り、7ゲームマッチで行います。
- (2) ベンチは組み合わせの小さい番号が、若番が通路側になります。
- (3) ベンチ及び応援席での日傘の使用を認めますが、プレーに支障をきたす（光の反射をする）銀色等の光る傘は禁止します。
- (4) 別紙「進行表」を確認し、円滑な進行に協力してください。
- (5) コート以外でのラケットを使った練習及び駐車場でのアップは禁止とします。
- (6) ボールホルダーにお守り等をつけることは認められていません。
- (7) 勝者は試合後速やかにスコアシートを本部に提出してください。
- (8) 貴重品やゴミの管理を各学校で徹底してください。
- (9) 応援者が両サイドに分かれることができない場合は、片側を半分ずつ分け合ってください。
- (10) 連続プレーできるような応援や、相手を不快にさせない応援をしてください。
- (11) ビデオ撮影は原則許可します。ネットに投稿する場合は相手校に許可を得てください。
- (12) 審判台に「ストップウォッチ」と「電子ホイッスル」を用意してあります。チェンジサイズ時は40秒でホイッスルを「ピー」と長めに1回鳴らしてください。さらに50秒で2回鳴らしてください。それでも移動しない場合は「レッツプレイ」のコールとともに、イエローカードを躊躇なく提示してください。ポイント間が60秒以内でなければならないので、移動後にペアで話さないでください。
- (13) ポイント間のペアの打ち合わせもレッツプレイの対象です。
- (14) ゼッケンを必ず着用してください。四隅を必ずとめてください。
- (15) 試合中のコート外からの飲み物、用具の持ち込みを本部の許可を得れば認めます。
- (16) 試合中に治療が必要な場合は本部の許可を得ればコート外の選手及び、指導者の治療を認めます。
- (17) コイントスでのトスの方法について

正審、副審は両者とも審判台側で並び、マッチ開始前の挨拶を行う。

挨拶が終了したら副審はコインのA、Bの両面をプレーヤーに見せる。

コインのA面が出た場合は、審判から見て右側のプレーヤーが

コインのB面が出た場合は、審判から見て左側のプレーヤーが、トスの勝者になると確認する。

副審は指で弾くなどしてその場でコインを投げてコート上へ落とす。

先取権を得た方は「サービスあるいはレシーブのいずれか」または「サイド」の選択をする。もう一方のプレーヤーは、先取権を得た方が選ばなかったものの選択権を得る。

大会諸注意

- (1) 練習割当については別紙「R8 練習割当・注意事項」をご覧ください。
- (2) 進行表および進行状況をよく確認し、前の対戦が終わったら速やかにコートに入ってください。
- (3) 各コートの初戦審判の割当は別紙「進行表」を確認してください。各コート 2 試合目以降は敗者審判となります。ただし、敗者が自校の試合の審判を行うことになった場合は相互審判を認めますので、必要があれば本部まで申し出てください。なお、敗者は原則正審とします。
- (4) ベンチ入り指導者は、個人出場ペア数以下で上限 4 名までとします。本部から配付される ID カードを必ず見えるところに着用してください。ベンチ入り指導者以外がアドバイスすることの無いようにしてください（イエローカードに該当します）。試合ごとにベンチ入り指導者が代わってもかまいません。
- (5) 出場する選手は、申込用紙に記載されている選手とします。変更があれば受付時に「様式 1 1 選手変更届（当日提出用）」を提出してください。後日「様式 1 2 選手変更届（後日提出用）」に公印を押印の上、PDF ファイルにして専門委員長にメールしてください。
- (6) カメラなどで撮影する場合は、プレーを妨げないようマナーを遵守して下さい。
撮影したものをネット及び SNS 上に公開する場合は、全当事者の同意を得るようにして下さい。